

特 集

バイオで測る(Ⅱ)

—ダイオキシン・POPs をめぐるバイオアッセイの最新動向

巻 頭 言 有菌幸司 1

廃棄物試料中ダイオキシン類への生物検定法の適用と課題 滝上英孝 2

河川底質中ダイオキシン類測定における簡易測定法の適用 小森行也 7

ダイオキシン類生物検定法における精度管理手法 北本寛明 10

* 生物検定法の実際

ダイオキシン類簡易測定法；ケイラックス®(CALUX®)の最新情報 中村昌文 15

生物検定法による土壌・底質・水質のダイオキシン類測定 小倉 哲・上村由加里・久保清泰・藤平弘樹 21

ダイオキシン類の生物検定法 —Ah ルシフェラーゼアッセイ 横堀尚之・松永治之 25

スクリーニング法としてのイムノアッセイの評価 —絶縁油中微量 PCB の測定を例として— 大村直也・佐々木和裕 28

<関連寄稿>

残留性有機汚染物質(POPs)と内分泌かく乱化学物質 鱸迫典久・森田昌敏 31

残留性有機汚染物質(POPs)対策への取組み 兼綱孝紀・平川 剛・有菌幸司 35

イムノセンシング法による迅速分析法の水質分析への展開 片岡千和・澤田石一之 40

バイオアッセイ標準化への生物化学的測定研究会の取組み 岩木和夫 44

<報 文>

モデル焼却炉を用いたスプレイ水滴による排ガス冷却効果に関する研究 久保田英士・茂地 徹・武政剛弘・桃木 悟・有菌幸司 47